

# 「BELIEVE」

BELIEVE

2004  
夏季号  
VOL.10

平成16年度

## 外来・入院 アンケート調査 集計結果発表

- シリーズ **情熱の白衣**  
ナースレポート
- 大阪赤十字病院  
95年のその時
- ふしぎ自然紀行  
「巣箱を利用する鳥」

### ＋

#### 大阪赤十字病院の基本理念

わたくしたちは

人道・博愛の赤十字精神に基づき

すべての人の尊厳をまもり

心のかよう高度の医療をめざします

#### 患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します

画／清水慶武 (SHIMIZU YOSHITAKE)

シャ～シャ～シャ～とセミが一面に鳴いています。近隣には背丈ほどに伸びたトウモロコシの畑が広がっています。清水さんの週末の日課は10kmから20kmの散歩です。暑い太陽の日差し、汗をかいた体に当たる風、生い茂る緑…、自然のなかの音や匂い、色を体中で受け止めているのでしょう。自然界には直線のものはないと言われていました。彼の作品もまた滑らかな曲線で描かれるものが多く、自然界の息遣いを感じさせてくれます。[嵐山四季の家 高岡真弓]

<大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています>



# 外来・入院 アンケート調査 集計結果発表

去る5月21日から6月25日まで、「患者さまの声を聞かせ下さい」とのことで、外来・入院アンケート調査を実施しましたところ、多くの患者さまに「協力をいただき、たくさんのお寄せいただいた患者さまの「意見をもとに」ご期待に添えるよう、また「このところの高度の医療」を患者さまに提供していけるよう全力を尽くしてまいります。

こちらでは、皆さまからいただいた貴重な「意見」ご要望の集計結果を「報告し、なかでも多くの方から寄せられた「意見」についてお答えさせていただきたいと思っております。

●調査対象：大阪赤十字病院通院中の患者さま・入院中の患者さま  
 ●調査日：5月21日(金)～6月25日(金)  
 ●調査方法：調査期間中に配布の「Q1～Q5」新緑等に挟み込み配布  
 ●外来アンケートのみ「3階の各所」にて配布

## 入院

### 総合的な入院の満足度について

満足	62.2%
普通	29.7%
不満	8.1%

### 看護師の対応について

「日常生活(歩行・入浴・食事など)の手助け」について

良い	40.3%
普通	47.8%
悪い	11.9%

### 入院の食事内容について

### 「味について」

満足	52.0%
普通	32.0%
不満	16.0%

### 「内容(メニュー)について」

満足	16.1%
普通	48.4%
不満	35.5%

### 事務職員の対応について

「診療科窓口の事務職員の対応」について

良い	35.1%
普通	47.5%
悪い	5.4%
とても悪い	4.5%
とても良い	7.4%

## 医師への意見

診察室にパソコンが入ったのはいいと思いますが、診察する時に患者の顔も見ずにパソコンのデータばかり見ているのはいかがかと思います。患者の顔色が悪い時、果たして先生は分かるのでしょうか。

●ご指摘の点はパソコンの導入以来問題となっているところです。診療科によって多少の違いはあると思いますが、診察の基本は「視診」「問診」「触診」「聴診」です。これは昔も今も変わりはありません。患者さまが診察室に入られた時点から、歩く様子、顔色など、よく観察することで診察は始まっています。コンピュータを睨んでいたのではそもそも

## 看護師への意見

診察室にパソコンが入ったのはいいと思いますが、診察する時に患者の顔も見ずにパソコンのデータばかり見ているのはいかがかと思います。患者の顔色が悪い時、果たして先生は分かるのでしょうか。

●ご指摘の点はパソコンの導入以来問題となっているところです。診療科によって多少の違いはあると思いますが、診察の基本は「視診」「問診」「触診」「聴診」です。これは昔も今も変わりはありません。患者さまが診察室に入られた時点から、歩く様子、顔色など、よく観察することで診察は始まっています。コンピュータを睨んでいたのではそもそも

## 受付職員への意見

受付職員は最悪でした。笑顔はないし、分からないのもう一度質問したら、面倒そうな顔をされた。対応のマンナー、言葉遣いもなっていない。診療科窓口の職員はシステムを良く理解できていない。

●接遇に関しては個々の意識改善をすべく、現在自己チェック及び第三者によるチェックを行っており、その結果をもとにレベルアップできるように指導してまいります。自信がないということから「笑顔がない」というお声をいただいていると思いますので、日々前進で明るくさわやかな対応ができるよう努めたいと思っております。

また、診療科窓口の職員には、院内のシステム及び施設等に関して、1日も早くシステムを理解し、きちんとできるように指導いたします。4月1日より窓口受付職員が総て入れ替わった為に、患者さまには大変なご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

## 看護士への意見

看護師さん同士の連絡がきちんとされていないことが多い。言うことが、人によってまちまちで、どの人の言うことが正しいのか迷ってしまふ。

●ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。このようなことがないように各病棟スタッフに注意、指導しております。また、今後はよりいっそう患者さまに安心・快適な療養を提供して

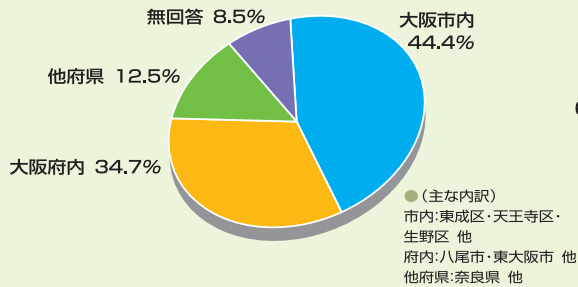
## 待ち時間待への意見

診療の待ち時間が長い。緊急オペ等、状況がわかれば、こちらは納得するので、待っている患者に対してきちんとこの説明をすべき。

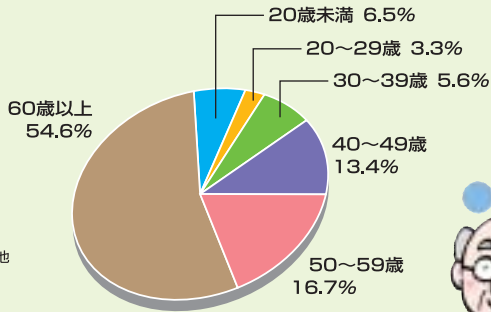
●待ち時間短縮のため職員同努力しておりますが、必ずしも予約時間どおりに診察が進行しない場合があります。患者さまにはご迷惑をおかけして申し訳ありません。各外来の診察室のスタッフは、状況の説明に「層心」がけるようにいたします。また、患者さまには予約時間にあわせての来院をお願いします。



## 患者さまの居住地について



## 患者さまの年齢について

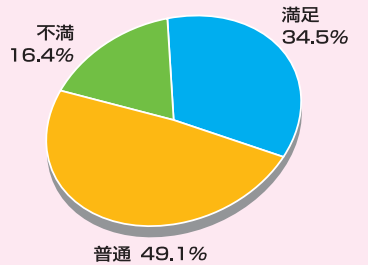


## 総合

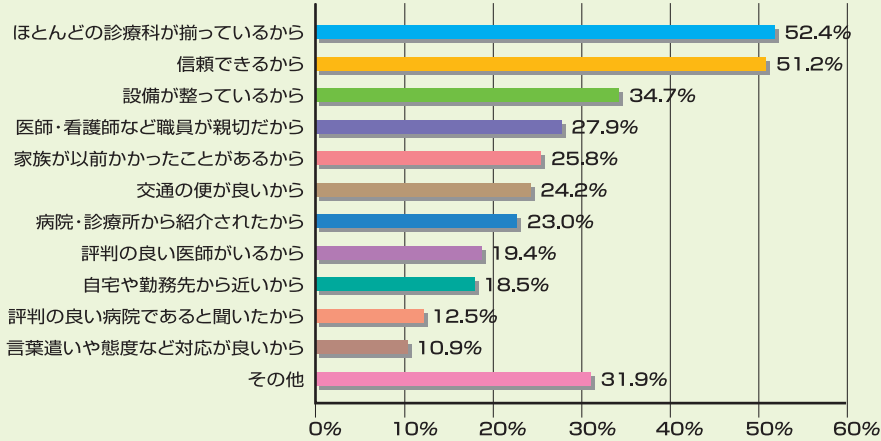
## 外来



## 総合的な外来の満足度について

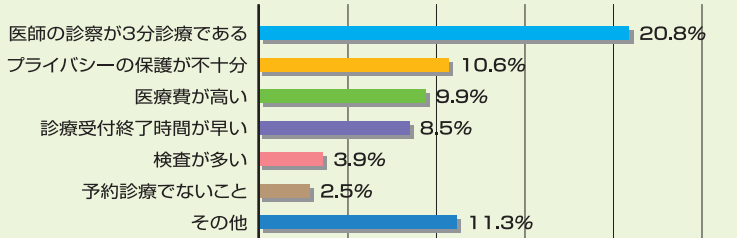


## 当院を選ばれた理由



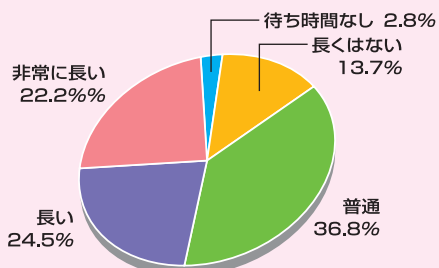
●「その他」の内訳としては「前の病院・診療所に満足できなかったから」、「他に病院がないから」、「以前からかかっているから」などの理由が挙げられました。

## 不満を感じている点について



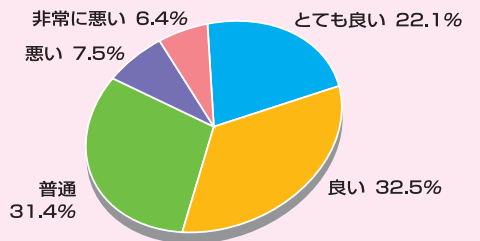
●「その他」の内訳では、「待ち時間が長い」「予約時間とおりでない」という意見が寄せられました。

## 待ち時間について



●「非常に長い」「長い」という回答が約47%にも及び、回答者の約半数の方が待ち時間に対して不満を感じておられることが判りました。

## 医師の対応について



●治療にあたっての説明や配慮に関するもの、質問のしやすさなど、全9項目をお伺いしました。グラフはその平均となっています。病気や治療法、検査についての説明や言葉遣いに関しては、「良い」が約54%、「悪い」が約16%でした。しかし、「医師への質問のしやすさ」に関しては「良い」と回答された方が約56%おられるものの、「悪い」と回答された方が約22%にもおられるのぼり、医師に対して質問しにくいと感じられている方が多いことが判りました。



**冷房が強く、とても寒い。待ち時間の間、寒くて仕方なかった。**

### 施設・設備への意見

● 常に予約診療の時間が遅れるのは何故？ 予約の取り方に問題があるのでは？

● 予約診療につきましては、患者さまの多くのご意見を踏まえ、時間通りの診察となるように検討を進めてまいります。

● 再診受付機が1階にしかなく、エスカレーター間も離れている。ある科を受診中に他の科の受付をし忘れた時はとても不便！ 各階に1台ずつくらい受付機があってもよいのではないのでしょうか。

● 再診受付は、1階の再診受付機のほか、2階の保険確認窓口でも受付できますのでご利用ください。

### 入院の食事への意見

● 食事について、もう少し良くして欲しい。メニューワンパターン、味付け(薄味)を考えて欲しい。

● 味付けが薄いとのご指摘について、厚生労働省が定める目標摂取量では、普通食でも1日あたりに摂取する塩分は10g以下が好ましいとされており、当院でも塩分控えめの味付けを心がけております。今後は、だし汁や香辛料等の塩分に関与しない部分でも改善を行い、薄味でも美味しく食べて頂けるよう工夫していきます。また、ワンパターンにならないように、メニューのサイクルにも注意を払うとともに、季節の食材の使用や調理法を工夫し、皆さまにおいしい食事をご提供できるよう努力してまいります。

### その他への意見

● 冷房中の室内温度については院内基準温度(26℃)を設け、患者さまの体調に影響を及ぼさないよう常に基準温度を保つよう努めることといたします。

● 館内に喫煙室を設置してほしい。

● 病院正面にある喫煙所を見えない所に移してほしい。私はタバコを必死の思いでやめたので、喫煙所の前を通るのが怖いのです。

● 当館は健康増進法により、他人のタバコのけむりを吸わされることによる受動喫煙の防止のため、館内は全面禁煙としております。皆さまのご理解とご協力をお願いします。現在、仮の喫煙所を正面玄関横に設置しておりますが、周囲に樹木の大型プランターを配し、できる限り人目にも見えにくく、やさしい環境作りに努めています。また、来年1月末頃には、現在工事中の北側駐車場付近に雨にぬれない喫煙所を設置する予定です。

● 入院患者のモラルやマナーについての指導を強化されることを強く要請します。入院中、全く場所と目的をわきまえない不心得者の患者が多い。

● 待合い場での患者さん同士のおしゃべりの声で、呼び出しが聞こえにくい。年寄りで耳が悪いので困ります。患者同士のおしゃべりは小声で、とアピールしてほしい。

● 病院は不特定多数の方がご利用になる公共の場所であり、さまざまな状況の方がおられます。職員も十分注意していくよう心がけますが、ご来院の皆さまにおかれましても、周囲の状況をご理解いただき、来院される皆さまがそれぞれ気持ちよく過ごせますようご協力をお願いいたします。

# ご存じですか？

各・診・療・科・の・ご・案・内

## 眼科

10年前と比較して、メディアなどでの啓蒙活動のおかげで重症な糖尿病網膜症は減ったものの、なんでこんなになるまでほったらかしだったのか？という方は今でも時々おられます。眼科受診をして治療を中断することなく、継続いたしましょう。

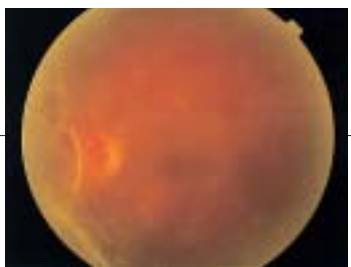
### 糖尿病網膜症と血糖のコントロール

眼科部医師 正井宏和

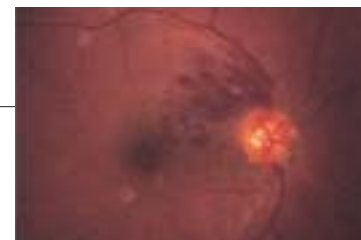
現在日本で一番の失明原因は糖尿病網膜症です。高血糖にともなう代謝異常は血液の性状や末梢血管に障害を及ぼします。眼球をカメラにたとえると、フィルムにあたる網膜の細小血管に障害が起こります。血管の壁が傷み、毛細血管瘤、網膜出血(眼底出血)、浮腫、血漿成分の漏出などが起こります。この状態を単純網膜症といい、初期であれば内科的管理(血糖のコントロール)で進行は停止します。

しかしコントロール不良で症状がさらに進行すると、粘つくようになった血液の血管内凝固などによる血管閉塞が起こり、最終的に網膜に十分な血液が循環しなくなり、つまり網膜は虚血状態になり、酸素・栄養が供給されません。この状態を増殖前網膜症といい、放置すればこの酸素不足の網膜からは血管新生因子という新しい血管を生育させるような物質が放出され、この物質により眼内に新しい血管が発生します。と

先に述べたように非常に脆弱な新生血管が網膜に生じ眼内出血(硝子体出血)を繰り返します。この出血で初めて眼科を受診し自分が糖尿病であったと判る方もおられます。そのうち出血の血液中に含まれるさまざまな増殖因子が作用して、いよいよ網膜表面に増殖膜が発生します。この状態を増殖糖尿病網膜症といいます。この状態になれば、改心しておろそかになっていた血糖のコントロールを良くしても遅いのです(もちろん血糖のコントロールは最低限必要なことです)。増殖膜は網膜を牽引して、網膜に皺を寄せたり、網膜剥離を引き起こしたりします。それらが網膜の中央(黄斑部)におよび、また硝子体出血が必要になります(図1)。手術では硝子体出血の切除、増殖膜の切除、レーザー凝固の完成を目的とします。



(図1) 50歳男性。左眼の増殖糖尿病網膜症。眼内出血(硝子体出血)と白色の増殖膜を認めます。手術により矯正視力0.05が0.5に改善。



(図2) 78歳女性。右眼の網膜中心静脈分枝閉塞症。黄斑部の網膜に浮腫・出血を認めます。手術により矯正視力0.1が0.7に改善。網膜光干渉断層計(OCT)で黄斑部の網膜浮腫(厚み)が術後に軽減しています。

このことは糖尿病に限らず他の疾患、たとえば網膜の動脈硬化が原因で広範な網膜出血(眼底出血)が生じる網膜静脈閉塞症にでも生じます。最近、当院ではこの病態に対してステロイド剤の眼内注入を硝子体手術と同時にあるいは単独で施行することで、黄斑部の網膜浮腫の軽減、視力の回復を図り、良好な結果を得ています(図2)。

最後に糖尿病による緑内障のお話。前述の虚血状態の網膜から放出される血管新生因子が眼の前部に作用すれば緑内障を起こします。緑内障とは高い眼圧が続くことで視神経が傷害され萎縮し徐々に視野が狭まり最終的に見えなくなる病気です。眼内は房水という透明な水成分が循環していますが、その流出路の線維柱帯という組織に新生血管が生じ、房水の眼外への流出が阻害され眼圧が上昇するのです。これは他の緑内障と区別して血管新生緑内障と名付けられています。眼圧のコントロールが困難なために失明に至ることのある難治な緑内障です。治療の原則は糖尿病網膜症と同様、虚血網膜に対するレーザー凝固です。さらに緑内障用の点眼薬を用いても眼圧が下降しなければいよいよ手術となります。緑内障手術は線維柱帯切除術という手術を行います。読んで字のごとく、元の房水の流出路である線維柱帯をあきらめてそこに孔をあけ、房水を眼外に流す手術です。ただし他の緑内障と違い孔をあける線維柱帯に新生血管が発生しているため、術後に切開部からの多量の出血をみることもあり、そのような時には手術の効果を期待できません。しかしながら当院では症例にもよりますが、まず硝子体手術を行い虚血網膜に対するレーザー凝固を眼内から眼の隅にまで完成させるとともに別の緑内障手術(毛様体濾過術)を加え、いったん眼圧を下げて線維柱帯から新生血管を退かせます。その後には多量の出血をみることなく線維柱帯切除術を行っています。

うな状態を起ささないようにするには、血管新生因子の発生源である酸素不足の網膜(虚血網膜)をできるかぎりつぶしてしまわなければなりません。そこで我々眼科医はレーザー凝固をおこないます。レーザー凝固は血管の閉塞した網膜にレーザー光をあてて凝固することで血管新生因子の産生を防ぎ、また残った網膜を酸素不足から救ってやめるための処置です。広い範囲の網膜を凝固した場合は、残念ながら視力が低下することもあれば、暗く感じるようになることもあります。放置することによる将来の失明を避けるためにはどうしても必要な処置です。さてこの増殖前網膜症が進行すると、

10年前と比較して、メディアなどでの啓蒙活動のおかげで重症な糖尿病網膜症は減ったものの、なんでこんなになるまでほったらかしだったのか？という方は今でも時々おられます。増殖性変化がなくても黄斑部の網膜に浮腫が生じれば視力は低下します。

いずれにせよ悪くなる前から血糖のコントロールに注意して眼科にもきっちり受診していればいろいろ手術を受けて苦しむことはないわけです。現在内科的にも眼科的にも良好な方は気を緩めてコントロールを乱したり眼科受診を中断したりしないようにしましょう。

- 柏井 聡
- 正井 宏和
- 田口 朗
- 稲谷 大
- 加賀 郁子
- 木村 友剛
- 荒川 奈央子





SHINICHIRO OKAMOTO  
岡本新一郎  
脳神経外科部長

**PROFILE**  
昭和24年10月4日、神奈川県生まれ。昭和43年茨城県立水戸第二高等学校卒業。昭和50年京都大学医学部卒業。同年4月同大脳神経外科入局。昭和53年4月同大大学院医学研究科入学。昭和57年3月同修了。京都大学脳神経外科助手。滋賀県立成人病センター脳神経外科部長を経て、平成3年大阪赤十字病院脳神経外科副部長。平成4年10月脳神経外科部長に就任。現在に至る。

●人生イコール勉強●

# 膨大な読書量が示す、果てしなき知識欲と向上心。

## 通勤時間と休日は読書タイム。

岡本医師に「好きなこととは？」と質問すると、「新しい知識を身につけること、手術、後輩の指導・教育」という答えが返ってきた。「新しい知識」は医学のことに限らず、日常、関心を持っているすべてを指すそうだ。情報源は主に書籍。京都から電車で片道1時間半かかる通勤時間と休日を読書に充てている。読書量が200冊に及ぶ年もあるほど。「今、読んでいるのは『パレスチナの歴史』『中央アジアの歴史』の本を読んでいます」と言う。歴史を知らない、現在の国際社



会で問題となっていないことが理解できないためとか。

「私は高校時代、受験科目の都合で世界史を勉強していません。それで、学生時代にできなかった勉強をしようと思つて、今読んでいます。勉強というのは、興味を持った時にすればいいと思います。今、大学、高校の3人の子どもたちは勉強嫌いなんですが、彼らにもそう言い聞かせています」と語る岡本医師自身は相当な勉強家。しかもそれを人生の楽しみとしているように見受けられる。

## 本 当に価値のあることを求めて。

手術は、脳神経外科医である岡本医師の好きなことの二つ。同科医を選んだのは、大学時代、若く洗剤とした脳外科の助教授の講義で「メスを持つのは男子の本懐である」という話を聞き、

自分も若い時から活躍できる科だと思つたことがきっかけと言う。脳という非常に大切な部位に直接かかわることができるという魅力も大きかったようだ。

専門が「脳」だけに急を要する手術が多く、いつ呼び出しがかかるかわからない状況にある。24時間拘束されているようなもの。だが、「手術中は、そのことに集中できるから好きなんです。しかも、やり遂げると結果がついてくる。いい手術をすると患者さまに喜んでいただけます」と言う。

そんな岡本医師がいつも考えていることがある。それは「本当に価値があることは何だろうか。万人にとって価値のあることは存在するのだろうか」ということ。これは患者さまとのかかわりにおいても、また部長として後輩たちの育成にも、地域の医療体制作りなどにもかかわるテーマのようだ。

「インタビューは苦手」と言いながら、抽象的な話にも具体例をあげて詳しく説明してくれる岡本医師に、診療時の患者さまへの対応ぶりを見るような気がした。



最近、歴史の本以外に「不動産管理」に関する本も読んだ。

## ナースレポート 心ゆるる日々

10

### よりよい看護体制を 目指して努力したい

寺澤明子



昭和44年11月9日、大阪府生まれ。昭和63年大阪府立野高等学校卒業。平成4年日本赤十字看護大学卒業。平成4年〜9年、大阪赤十字病院内科病棟勤務。平成9年、日本赤十字看護大学大学院入学。平成11年、同修士課程修了。平成11年〜13年、大阪赤十字病院外科病棟勤務。平成13年〜16年、日本赤十字広島看護大学助手。平成16年、大阪赤十字病院外科病棟勤務。11階B病棟看護係長。

看護師になりたての頃、私は、バリバリ仕事をこなすというより、じっくり患者さまとかかわり、患者さま自身の目標に向かって一緒に考え、工夫しながらケアしていく看護師になりたいと思っていました。でも病棟ではそういう看護ができず、行き詰まって、大学院で勉強し直すことにしたんです。

看護の体制を変えるためには、理論的に説明できるようにしなければならぬと思つて……。看護師になって5年後のことでした。日本赤十字看護大学の大学院で看護管理学を学び、修士号を取得。その後、再び当院の臨床に戻り、外科病棟に勤務しました。2年後、日本赤十字広島看護大学の助手の話をいただいて、いろいろな方面から看護について考えるいい機会だと思ひ、引き受けたんです。



日本赤十字広島看護大学・助手時代の演習風景。

助手時代、私の言うことがわからないと、学生はストレートに「わからない」と言いました。わかってもらえないようにどう伝えるか、勉強になりましたね。3年後の今春、外科病棟勤務に戻りましたが、患者さまとのコミュニケーションの取り方に役立っています。

こういった経歴については、変わっていきとよく言われますね。納得できないまま我慢して看護するのが嫌で勉強しただけなんですけど(笑)。

私は、看護の対象は「生活」だと思ひます。例えば、入院中はヒゲが伸び放題になっている方が多いのですが、看護師のやり方によっては、患者さまに負担をかけずにヒゲ剃りができます。ヒゲを剃るだけで、口調までしっかりしてくる患者さまもいらつしやるんですよ。翌日、ご自分でヒゲを剃っているのを見るとうれしくなります。

「私の理想は、看護師も患者さま受け持ち制にすること」。患者さま自身がどうありたいと思つていらつしやるのかを考え、目標に合わせた看護計画を立ててかかわっていくという体制を実現したいと思ひています。

小学生の頃からタイガースファンなので、休日は甲子園でビールを飲みながら応援したいのですが(笑)、現実には、半分は睡眠時間、半分は仕事関係の調べ物に充てています。ライフワークの研究も休日に行っています。この研究は、いつか論文にまとめたかったですね。

# 食習慣の改善

## 胃・十二指腸潰瘍と食事療法



健康な胃では、

強力な胃液やペプシンなどの攻撃因子と、胃粘膜の粘液や血流などの

防御因子とのバランスがとれていて潰瘍はできません。しかし、胃・十二指腸潰瘍はストレスなどの刺激因子で体調機能が乱れ、この攻撃因子と防御因子のバランスが崩れたときにできます。

胃・十二指腸潰瘍の薬物療法では、攻撃因子を抑制する薬剤と、防御因子を亢進する薬剤の優れたものが開発されています。しかし、薬物療法のみで頼り食事療法をおろそかにするわけにはいきません。薬物療法をより効果的にするために食事療法は重要です。

食事療法については、従来かなり厳しい食事制限がなされてきました。現在では、出血時・活動期は別として、大幅に食事制

好ましい食品・料理	控えたい食品・料理
うどん・そうめん	ラーメン
軟らかい米飯	冷やご飯
白身魚	青身魚
じゃがいも	さつまいも
バター	マーガリン
マヨネーズ	
豆腐・高野豆腐などの大豆製品	大豆・枝豆など
大根・人参など軟らかく煮た野菜	たけのこ、ごぼう、セロリなどの繊維質の多い野菜
牛乳・ヨーグルトなどの乳製品	

限を緩和するようになりました。十分なエネルギーとタンパク質を摂取し、潰瘍自身の治療を促進するように努めましょう。特に制限すべきものは、かたい食品、熱い料理、冷たい料理や刺激物などが挙げられます。これらは胃粘膜を、物理的にも科学的にも刺激します。

### 物理的な刺激物

- かたい食品
- かたい繊維の多い食品
- 熱い料理(70度以上)
- 冷たい料理(10度以下) など

### 化学的な刺激物

- カレー粉・七味とうがらし・からし・こしょう等の刺激性が強い香辛料
- 酸味の強い食品・料理
- カフェイン
- アルコール、ニコチン など

胃・十二指腸潰瘍では、消化に良いものを摂るよう心がけましょう。最も適した調理法は、煮る・蒸す・茹でるなどです。焼く・炒める・揚げるは油の使用量が増えるので適しません。



そのほか注意すべき点としては、ゆっくりよく噛んで食べることや、長時間胃を空腹にしないことも重要です。疲れをためることも禁物ですので、規則正しい生活を送り十分な睡眠を取るよう心がけましょう。最後に、食事療法における注意すべき点を挙げておきます。

### 胃・十二指腸潰瘍の食事療法の注意点

- 1 十分なエネルギー・タンパク質を摂取しましょう。
- 2 刺激物やかたい食品は控える。
- 3 熱い料理・冷たい料理は控える。
- 4 アルコールは禁物。
- 5 ゆっくりよく噛んで食べましょう。
- 6 1日3回規則正しく摂取しましょう。
- 7 食後は休養と安静をしっかりととりましょう。

# 大阪赤十字病院95年のその時………10

## 大空からの贈り物、スズラン慰問

毎年初夏になると、大阪赤十字病院に入院中の患者さまに、北海道からスズランの花のお見舞いが届きます。

この花慰問が始まったのは、昭和31年6月のこと。高松宮さまが全国赤十字病院に入院中の患者さまを慰問のため、全日空の厚意で贈られたのがきっかけです。以来、毎年、北海道から空輸したスズランを全日空の客室乗務員の方が届けてくださっており、今年で49回目を迎えました。

スズランの花言葉は、「幸せ」。清らかな花と甘い香りは、闘病中の患者さまの心を癒し、元気づけてきました。昭和47年のスズランは5月24日に当院へ届きました。「全日空の代表で、スズランを届けた藤松大阪空

港調査役は元当院の金納看護婦長のご令息という奇縁に、岡看護部長は大感激であった」という当時の一文があります。また、昭和61年には「6月4日、北海道のスズランのお見舞いが届いた。この花を届けた全日空の宮本祐子スチュワーデスは、昭和35年、当院で生まれて

いる。その時、主治医だった産婦人科の南俊一副部長と会い、感謝のスズランが贈られた」というエピソードも残っています。

スズランは、室に飾ったり、本のしおりに使ったりされています。「幸せを運ぶ、一日も早い回復をお祈りする気持ち」がこめられたスズランの花慰問。恒例行事として、これからも患者さまを励ましてくださることでしょ。



平成14年まで生花で贈られてきましたが、数日でおれしてしまうため、昨年から「幸せがずっと続いてほしい」という願いを込めて、日本レミコ押し花学院の協力のもと、客室乗務員がひとつひとつ新鮮な生花を押し花にラミネート加工して贈られるようになりました。その手作りのしおりをプレゼントされた患者さま方は大喜びで、病室に飾ったり、本のしおりに使ったりされています。

「幸せを運ぶ、一日も早い回復をお祈りする気持ち」がこめられたスズランの花慰問。恒例行事として、これからも患者さまを励ましてくださることでしょ。

## おくすりミニ知識

### ～賢い患者さまになろう～

みなさん、薬の相互作用という言葉を知っていますか？ 薬の相互作用とは薬等の飲み合わせのことなのです。



例えば、ある種の糖尿病の薬と、熱を下げたり、痛みを取る薬や、血液をさらさらにする薬と一緒に飲むと、糖尿病の薬が効きすぎて低血糖を起こしてしまうことがあります。また、胃潰瘍の薬や血圧の薬と、気管支を広げる薬であるテオフィリンと一緒に飲むと、テオフィリンの作用が強くなりすぎて、頭痛や気分が悪くなったり、吐き気が見れることがあります。また高血圧症で、一種類の薬で血圧がうまくコントロールできない場合に、別の種類の血圧を下げる薬を加えることにより安定した血圧を維持できることがあります。このように、二つの薬と一緒に服用したときに、一つひとつの薬では見られない効果が現れる場合や、それぞれの作用が強くなりすぎたり、弱くなったりする場合、これらの薬の間には薬の相互作用があるといえます。

相互作用を起こす薬は数多くあり、相互作用が複雑になっています。さらに、相互作用は薬と食べ物やビタミン、健康食品等の間でも起こる可能性があります。このような事があってはいけませんので、患者さまが他の病院、医院で処方された薬や、現在飲んでいる大衆薬があれば、診察の時主治医に相談し未然に防ぎましょう。(薬剤部 土井孝尚)

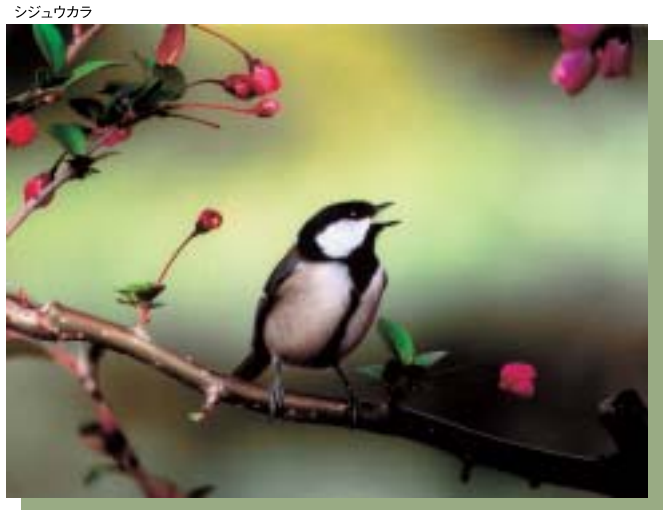


# ふしぎ 自然紀行

鳥たちのかがく-9

## 「巣箱を利用する鳥」

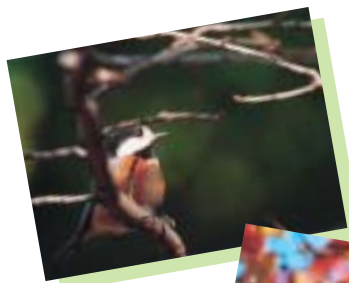
武庫川女子大学附属中学校・高等学校教諭 平松山治



シジュウカラ

クマゼミのシャーシャーシャーで目覚める季節になりました。森の鳥たちも子育てを終えてやっと二息ついていることでしょう。

鳥の子育ては、普通、巣を造り、卵をあため、親鳥が雛に餌を与えるということが大きな特徴の一つですが、鳥の巣といえば、多くの人は巣箱を思い浮かべるかもしれません。ところが木の枝や草むらに巣を掛ける多くの小鳥たちは、巣箱を利用しません。巣箱を利用する鳥は、本来、木の洞など



ヤマガラ

※巣箱の大きさや巣穴の大きさ、設置の方法などで、うまく雛を育て上げられるかどうかには大きな差が出てきます。興味のある方は、日本鳥類保護連盟の「庭に小鳥を」や日本野鳥の会の「窓をひらけるとキミがいる」などをご覧ください。巣箱の作り方や詳しい設置方法が載っています。



スズメ

を巣にする少数の小鳥たちに限られています。大阪付近では、スズメ・ムクドリ・シジュウカラ・ヤマガラといったところですが、

ところが今、洞のある太い木や古い木は大変少なくなっています。特に大阪の都市公園では、一見緑豊かな環境を提供しているように見えるのですが、その歴史が新しく洞のある太い木や古い枯れ木などは望めません。たとえあったとしても、来園者の危険のため取り除かれていくでしょう。

東京ではシジュウカラは都市の鳥の仲間入りをしています。大阪ではまだ繁殖期にはそんなに多くありません。東京には明治神宮や皇居など大きな古い森が多いからかもしれませんが、シジュウカラが大阪でも本格的に都市の鳥の仲間入りをしてもらえるかもしれません。

スズメは人と共生するようになってからは、人家の屋根瓦の隙間や戸袋に巣をつくるようになり、また別の巣を造っていたようですが、( )を利用していただけです。そのスズメも新しい建築物には隙間がなくなり、深刻な住宅難が押し寄せています。ムクドリも同じ状況です。マンションでもベランダに巣箱を設置してやると簡単に利用するようになります。ただし、階下の洗濯物にふんが落ちないような配慮が必要になります。

ヤマガラはまだ都心部には数少ない鳥ですが、山沿いの住宅地では巣箱を利用するかもしれません。

### みなさまの体験談を募集します！

『ぶり〜ぶ』では、皆さまの闘病体験記、ご家族の方の看護体験記を募集します。700字程度で、お名前・ご住所・連絡先を記入のうえ下記宛に送付ください。記名・匿名のご希望も明記いただけるようお願いいたします。掲載が決定した方にはこちらから追ってご連絡をいたします。連絡先、記名・匿名の明記のない場合で掲載が決定した場合は、原則匿名で掲載させていただきますのでご了承ください。

〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5番30号  
大阪赤十字病院 総務課 ぶり〜ぶ担当者 宛  
e-mail:hospital@osaka-med.jrc.or.jp

## 講習会と相談会

当院では、診察とは別に様々な講習会・相談会を行っております。関心をもたれた方は、ぜひご参加下さい。

### 内科 内科外来

- 糖尿病教室 (1コース4回実施)
  - ①毎週木曜日 (第5週は除く) 13時30分～15時30分
  - ②内科外来 3、4診察室
  - ③糖尿病の患者さまとその家族 (当院での受診の有無は問わず)
  - ④医師、看護師、管理栄養士
- 外来患者栄養相談
  - ①月曜日から金曜日までの毎日午前中
  - ②2階 栄養指導室
  - ③当院外来診察において、主治医から相談指示を受けた患者さま
  - ④管理栄養士
- 入院患者栄養相談
  - ①月曜日から金曜日までの毎日
  - ②2階 栄養指導室
  - ③当院入院中で、主治医から指示を受けた患者さま (予約制)
  - ④管理栄養士

- 大阪日赤みどり会 (日本糖尿病協会、大阪糖尿病協会加盟)
  - ③糖尿病で、大阪赤十字病院で医学的治療を受け、糖尿病教室を受講した方、

- 及び役員会で承認した方。
- ④患者会、医師、看護師、管理栄養士
- ⑤一泊研修やウォークラリーなどを通じて、健康管理や衛生指導及び会員同士の親睦を図ります。(内科外来にて、活動内容を掲示しています。) 入会費¥1,000、年会費¥2,000。2階 医療社会事業部にて入会受付を行っています。

### 小児科 小児科外来

- こどもアレルギー教室
  - ①毎月第3金曜日 15時～16時 ※1月は第4週の23日に開催します。
  - ②5階 会議室3
  - ③当科通院中の患者さま (10名まで、予約制。希望者多数の場合は近日に再度開催)
  - ④小児科医師・住本

### 呼吸器科 呼吸器科外来

- 喘息教室
  - ①毎月第3木曜日 15時～16時

- ②呼吸器科外来前・外待合い
- ③当院受診の有無に関わらず、どなたでも参加可能。
- ④呼吸器科医師 (偶数月)、薬剤師 (奇数月)
- ⑤参加者には小冊子を配布、開催の案内は呼吸器科外来等でも掲示します。

### 外科 外科外来

- のぞみの会
  - ①毎月第3木曜日 (8月、12月は除く) 14時30分～16時
  - ②5階 会議室1
  - ③乳癌手術後の患者さま (当院受診の有無に関わらず、参加可能)
  - ④外科医師、薬剤師 他

### 産婦人科 産婦人科外来

- 両親学級 (1コース2回実施)
  - ①毎月第1・2土曜日 10時～12時30分
  - ②4階 講堂
  - ③当院で受診の妊婦の方と、夫の方
  - ④産婦人科外来看護師、助産師、管理

- 栄養士
  - ⑤受講費¥1,500 (事前に支払)

### 耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科外来

- 道声会 (どうせいかい)
  - ①毎週月・水曜日 13時～14時
  - ②看護専門学校会議室
  - ③喉頭摘出の手術を受けた患者さま (当院受診の有無に関わらず、参加可能)
  - ④喉頭摘出をした会員が、ボランティアとして発声練習の指導にあたります。
  - ⑤パイプ式人工咽頭、電動式人工咽頭、食道発声の3種類の代用音声の指導を実施。入会費¥2,000、年会費¥3,000。会員同士の親睦会等も、実施しています。

### 薬剤部 薬剤部

- おくすり相談
  - ①月曜日から金曜日 9時30分～15時
  - ②2階薬剤部医薬品情報室 (おくすり相談コーナーへお申し出下さい)
  - ③当院受診の有無に関わらず、相談可能
  - ④薬剤師



## 短冊に願いを託して(七夕)

7月3日から7月7日まで1階総合ホールに七夕祭りの笹が飾られました。5日間という短期間でしたが、入院患者さま、外来患者さま、ご来院の皆さまから短冊にたくさんの願い事が寄せられました。短冊には「早く元気になって、家族みんなが健康に暮らせますように」など、病気の回復や健康を祈る短冊が多かったです。みなさんの願いが空に届きますように…。



これらの疾患に対して、適切なリハビリテーション等の保存的治療と低侵襲の関節鏡視下手術を行っていきます。さらに、スポーツ障害の予防やコンディショニングにもできるだけ力を入れていこうと思っています。

また、スポーツ外傷・障害だけでなく中高年齢者に多い肩腱板断裂、拘縮肩(いわゆる五十肩)、肩インピンジメント症候群、さらに各関節の滑膜炎や関節内骨折なども関節鏡視下手術の適応となりますので、スポーツ外来にご相談ください。

スポーツ外来は原則予約診となりますが、スポーツ疾患につきましては予約なしでもできるだけ対応しています。気軽にご相談ください。

●スポーツ外来日時/毎週火・木曜日 午後2時～3時30分

●整形外科スポーツ外来担当/医師:鈴木 隆

※診察日や時間は都合により変更になる場合があります。お越しの際は、事前に当院ホームページでご確認いただくか、整形外科外来にお問い合わせください。

## 施設課からのお知らせ

### ●自走式立体駐車場建設のお知らせ

平成17年2月の工事完了を目指して、今年9月に自走式立体駐車場の建設工事が始まります。この駐車場は本館北側に設立され、延べ面積6,442.80m<sup>2</sup>、426台、車いす用車のスペースの確保も予定しています。駐車場の完備につきましては、患者さまからも多々ご指摘いただいておりますが、もうしばらくご辛抱いただけますようお願いいたします。



### ●東出入口のご利用ができます

6月21日(月)から病院東出入口の使用が可能になりました。利用時間は午前7時から午後8時まで、休診日は終日閉門のためご利用になれません。また、この出入口は勾配がきついため歩行者専用とさせていただき、車いす・自転車ではご利用できませんので、ご理解ください。



### ●正面玄関前の歩道にポストが来ました



病院敷地内に天王寺郵便局より新しいポストが設置され、7月1日から使用可能になりました。以前は正門前にポストがありましたが、新館に移ってからはポストが玄関近くに、不便に感じておられる方も多かったようです。どうぞご利用ください。

## 患者さまからの声

Q

1 検査の時に絶食して来院。検査後に2〜3

杯くらい水分を摂るように言われます。以前の正面玄関にあった紙コップのジュースの自販機では冷水が無料で何杯でも飲めたのに、新館になってからはたつぷり水を飲む場がない。お薬を飲むかと思っても、勝手の悪い水飲み場がなく、不自由になったと思います。

A

お問い合わせの水を飲むことのできる自販機ですが、新館2階のレストラン横の自販機に1台設置しておりますので、そちらの方をご利用くださいますようお願いいたします。

Q

2 計算窓口で順番に並び時

ですが、二列に並んでいて、窓口2人の方がそれぞれ対応してくださっていました。ところが、片方の列はスムーズに進み、自分の列は止まっています。一列に並んで、窓口のどちらか済んだ方へ次の人が入るといいう方法はどうか? 他の病院では一列で順番を待つという方法をとられていてスムーズでした。ご検討をお願いします。







## 血液内科

## 骨髄バンクの移植認定施設になりました

ヒトはどうして癌になるのでしょうか？  
身体の中では知らない間に突然変異した細胞が、次々に生まれてきています。突然変異した中で増殖能力に優れた、生体にとっての悪者が癌細胞です。細胞が増えすぎるのを防ぐはずの自殺機構も壊れているのです。

しかし通常は、そのような悪者は警察官である免疫細胞が取り締まってくれます。免疫細胞も何らかの理由によって働かない時に、はじめて癌が正体を現すこととなります。白血病などの血液腫瘍に対しては、治癒を目指す治療法があり、それが造血幹細胞移植です。超大量の抗癌剤を用いて悪い細胞の数をなるべく減らしておいてから、新しい警察官(免疫細胞)を根付かせてやるという治療法です。

移植の際は、HLAという型がほぼ一致した提供者を探さねばなりません。ご兄弟や子供さん、ご両親にHLAの一致者が見つければよいのですが、おられなければ、従来は骨髄バンクで移植ドナーを探します。非

血縁者でHLAが一致する確率は、日本人では数万分の一ですが、骨髄バンクには現在18万人の方が登録されていて、全国でこれまでに5,600件近い移植が行われました。

従来、骨髄バンクで提供者が見つかったも当院が認定病院ではなかったため、その時点で他の骨髄バンク認定病院にご転院頂いておりました。患者さまには、慣れ親しんだ主治医と病院が変わることで、多大な不便と心配をおかけしていました。

しかし、昨年10月に血液内科と小児科は臍帯血バンクの認定を受け、当院でも臍帯血移植ができるようになりました。ついで、本年5月に血液内科が骨髄バンクの移植施設にも認定されました。当院は骨髄バンクの認定施設としては、全国で110番目(小児科を除く)、大阪府下で7番目です。完成した新病院のハード面での評価と共に、骨髄採取のマニュアルやクリニカルパス、自己血の管理保存法などのソフト面でも評価され、迅速に認定を受けることが出来ました。

## 大空から「幸せ」のお見舞い

6月9日(水)、今年も全日本空輸株式会社(以下、全日空と略)様より「幸せ」の花スズランが届けられ、客室乗務員・旅客係員の方(4名)から患者さまにプレゼントされました。

この全日空からの「スズランのお見舞い」は1956(昭和31)年から毎年行われており、今年で49回目を迎えます。

患者さまに贈られたのはスズランの押し花。幸せが長く続きますようにとの願いを込め、客室乗務員・旅客係員を中心とした全日空職員及びグループ職員の方が手作りなされたものです。

今年は玄関ホールで外来患者さまに手渡された後、13階B病棟の患者さまに「早く元



気になってくださいね」など、励ましながら、メッセージの入った押し花カードを一人ひとり手渡されました。



## ミニコンサート開催

去る5月22日(土)、1階玄関ホールで当院の職員有志の合唱団によるミニコンサートが開催されました。当日はご入院中の患者さまを中心に、ホールに入りきれない程の人数の方に来ていただきました。コンサートは春の歌を中心とした構成で、フィナーレは会場の皆さま全員との「ふるさと」の大合唱でした。歌声はホールから飛び出し、4階までの各階にまで響き渡り、休日の午後の一ときを華やかに彩りました。



## 整形外科

## スポーツ外来のご紹介

平成16年6月から、スポーツ外来を開設しましたのでご紹介いたします。

近年、スポーツ外傷・障害に限らず整形外科においては、患者さまの身体への負担が少ない“低侵襲手術”が求められるようになってきています。低侵襲手術のための強力な手段のひとつとして、関節の内視鏡である“関節鏡”があります。“関節鏡視下手術”は最近めざましい発展を遂げており、特に早期復帰が望まれるスポーツ外傷・障害の治療には不可欠となってきています。

スポーツ外来では、肩関節や膝疾患に限らず、あらゆるスポーツ外傷・障害を扱っていくつもりです。主な疾患としましては、投球障害肩、反復性肩関節脱臼、肩関節唇損傷、野球肘、膝前十字靭帯損傷、膝複合靭帯損傷、膝半月板断裂、足関節外側靭帯損傷、各関節の軟骨損傷などです。



## 編集後記

医療がサービス業であると厚生白書で明確にされてから数えて、今年で14年が経過しました。その間、当院においても患者サービスの向上とその実現に向け、さまざまな方策を実践してまいりました。病院における患者サービスの基本は、「患者さまを、さげないほほえみとあいさつで気持ちよく迎え入れ、気持ちよくお待ちいただき、気分よく診察を受け、また快適な入院生活を過ごし、気分良くお帰りいただく」ことではないかと考え、日々努力しているところでございます。そんな中、ともしればサービスという言葉だけが一人歩きして、その本質が理解されないまま、サービスのとらえ方に相違を生ずる事もあり、ご迷惑をおかけしたことも多くあったのではないかと感じています。

この度、多くの患者さまのご協力のもと「平成16年度 外来・入院アンケート調査」を実施し、日頃我々が提供している医療に対して患者さまほどの程度満足しておられるのかを調査させていただきました。その集計結果は本誌にお示ししておりますが、お寄せ頂きました数多くのご意見、ご要望等を真摯に受け止め、更にサービス向上と具体的改善につなげていく所存でございます。ありがとうございます。(Z)(E)

**A** 計算窓口ではご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。7月中旬から、計算窓口向かって左側を入口、右側を出口として、入口では一列に並んでいただくようご案内を始めております。ご指摘ありがとうございました。

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		津村 蜂谷 友野	福山 辻 西川	大鶴 友野 大崎	友野 辻 杉之下	那須 福山 圓尾	
		津村	福山 辻 齋藤	大鶴 大崎	辻 杉之下	那須 福山 蜂谷	全て予約制
消化器科 (肝臓外来)		喜多 喜多	大崎 大崎	木村 木村	国立 国立	国立 国立	全て予約制
		隠岐	武呂 政次	田中	隠岐	政次 田中	全て予約制
糖尿内科		田中	隠岐	武呂	政次	武呂	
		田中	隠岐	武呂	政次	武呂	全て予約制
血液内科		通堂 諫田	渡邊 有馬	蝶名林 通堂	諫田 渡邊	有馬 通堂	
			渡邊 有馬	有馬 通堂			全て予約制
免疫・リウマチ 内科		竹内 竹内	竹内 竹内	竹内 竹内			全て予約制
		坂井 宮本 宮本	宮本 南方 南方	南方 坂井 坂井	南方 宮本 宮本	宮本 南方 南方	全て予約制 全て予約制
循環器科		伊藤 林 牧田	田中 牧田 垣田	伊藤 稲田 桂川	滝本 桂川 田中	垣田 田中 稲田	
		伊藤 林	田中 牧田	伊藤 稲田	滝本 桂川	垣田 田中	全て予約制
心臓血管外科				南 南		南 南	全て予約制
小児科		新居 山本 田中	金岡 住本 宋	田中 葭井 山本	新居 濱田 住本	金岡 坂本 田中	
外科		端 亥埜 鍛	亥埜 東山 山中	横井 中島 大久保	三木 有本 鍛井本 鍛井本	井ノ本 浮草 東山	
				中島・淳			
整形外科		富原 坂本 吉田	大浦 鈴木 富	富原 浅野 坂本 富原	大浦 鈴木 富原	浅野 吉田	
			鈴木	富原	鈴木		
リハビリテーション科		河野	担当医	河野	富原	担当医	
脳神経外科		担当医	岡本 橋本 担当医	担当医	岡本 新田 担当医	伊藤 小室 担当医	

※異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科のご案内をご覧ください、各科外来にお問い合わせ下さい。



■当館は全面禁煙です

●当院では館内を全面禁煙とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
神経内科		金田 鷲田 鈴木	鷲田 安井 加藤	安井 加藤 金田	鈴木 金田 加藤	加藤 鷲田 鈴木	全て初診のみ 全て再診のみ 全て再診のみ
		吉村 網谷 西坂 黄	久保 田原 玉置	網谷 若山	西坂 田原 久保 網谷	若山 吉村 黄	
			弘野	渡辺 田中		中出	
呼吸器科		松本 木下 関山	姫野 馬場 関山	松本 木下 姫野	関山 木下 三瀬	三瀬 馬場 松本	産科・助産師外来 婦人科外来 婦人科外来
呼吸器外科			弘野	渡辺 田中		中出	
泌尿器科		金子 寺田	西村 寺田	大森 北原	西村 金子	大森 北原	全て予約制 午後は予約制
産婦人科		柏井 小松 木村 稲谷	柏井 担当医 担当医	正井 加賀・木 田口	柏井 担当医 担当医	田口 稲谷 正井 加賀	
		森 箕山 塩見 柿木	堀江 岩永 森 柿木	堀江 箕山 柿木 塩見		森 岩永 塩見 堀江	
		高瀬 玉城 荒木	堀口 太田 高瀬	堀口 玉城 荒木	荒木・高瀬 玉城	堀口 荒木 高瀬	全て予約制
形成外科		心石	橋本	秋山	心石	秋山	
精神神経科		吉田 麻生川 担当医	早川 土戸 担当医	麻生川 吉田 担当医	土戸 早川 麻生川	吉田 早川 土戸	
		小嶋 石垣 清水 藤堂・清水 小嶋 小嶋	藤堂 石垣 (外科) 清水・小嶋 清水 藤堂	清水 小嶋 清水 小嶋 (循環器科)	小嶋 藤堂 清水 小嶋	藤堂 石垣 石垣 藤堂 清水 清水	診断 治療 検査(透視) 検査(CT) 検査(MR) 検査(RI) 検査(血管造影)
放射線科		清水・小嶋 藤堂 小嶋	藤堂・清水 石垣 藤堂 小嶋	清水・小嶋 清水 (循環器科)	小嶋・藤堂 清水 小嶋	藤堂・清水 小嶋 清水	検査(CT) 検査(MR) 検査(RI) 検査(血管造影)
歯科 口腔外科		鹿野 杉立 蠅庭	杉立 蠅庭 鹿野	蠅庭 杉立 鹿野	担当医	蠅庭・鹿野 杉立 蠅庭・鹿野	全て初診のみ 全て再診(予約制) 全て再診(予約制)

■受付時間(月～金)〈診療開始は午前8時45分からです〉

- 初診の方……………月曜日～金曜日/午前8時30分～午前11時30分
- 再診の方……………月曜日～金曜日/午前8時45分～午前11時45分

■診察券は…

- 診察券は全科共通で永久に使用いたします。ご来院時には必ずお持ちください。

■保険証等は…

- 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。